



# PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

## 恥ずかしい思い

その少女はごく普通の家庭に育ち、良い高校に通っていた。一生懸命勉強して、大学も私立のいいところに入った。そこでも優秀な学生だったので彼女の両親も友達もみんな、彼女が卒業後優れた仕事に就けるものと信じ込んでいた。ところが、彼女は卒業一ヶ月前になつて自分が妊娠していることに気がついた途端に、自分への今までのイメージがすっかり変わってしまったのである。

「妊娠したなんて親には絶対言えなかった。私のイメージを壊してしまふのが怖くて。それに私の姉も妊娠したから結婚しなくてはならなくなったのだけれど、私は姉の二の舞いを踏むのは嫌だった。どうしようかと迷いに迷ったのだよ。結局中絶をしたのだ

けれど、それ以来学校に行くのも嫌になつて、朝起きるのが辛くなつたわ。何に對しても楽しみを感じられなくなつたし、自分はとんでもないひどい人間だと思ふようになってしまったの。卒業なんてそれこそ何の意味もなくなつてしまつたわ。」と彼女は話してくれた。

結婚するまで男性と肉体関係を持つような子ではないといういい子のイメージはすっかり崩されてしまったのである。

妊娠するということは、未婚、既婚にかかわらずその女性の肉体関係があらわにされることになる。未婚の場合妊娠すれば、女性は「引つかかった」と感じるだろう。友達も親戚もみんな、彼女は「進んでいる」と思つたろう。周りに知れ渡る前に「妊娠をかき消す」ことができれば、彼女が妊娠したことも肉体関係を持ったことも知られ

ずに済むわけである。

肉体関係で「進んでいる」「女性は、自分の行動を否定しがちだが、妊娠してしまうと現実を直視せざるを得なくなる。中絶のみが、自分はルールに基づいて生きているのだ。」という考えを持たせてくれる。そしてこの考え方が両親やその他の周囲の人々とのできることなら避けたらと思う衝突を防いでくれることになるのだ。

覚えておかなければならないのは、十代の少女が妊娠してしまつて恥ずかしく感じるのは、妊娠そのものではなく、肉体関係が「進んでいる」ことで引つかかつてしまった」と周りの人々に知られる事なのです。

(HWRFPA)

十代のセックスの結末  
その現実から

逃れるには

(第二部)

1・妊娠に追い込まれない  
ために

日本では十代の未婚の  
妊娠が年々増えている。こ  
の年代で高校在学中に中  
絶手術を受けるケースは  
約3〜4万件である。

避妊具を使用すれば妊  
娠しない、あるいは妊娠さ  
せないと安易に考えては  
いけない。性教育を受けた  
十代の若者の現実には、避妊  
具を使えば結婚せず  
セックスをしてもよいと  
考え、実際は未婚の妊娠率  
が増加する。十分に考慮し  
ている大人でも100%安心  
して使える避妊具はない。  
避妊具を使う十代の若者  
は、まだわかっていない赤

ちゃんである。妊娠しない  
唯一の方法はセックスを  
しないことである。

2・強いられる結婚に追い  
込まれないために

妊娠したから結婚しな  
くてはならない、という理  
由はない。しかし、多くの  
若者はこの助言に反して  
結婚する。そして彼らには  
三つの難問が待っている。

第一に、もし彼らが結婚  
を強いられたと思うよう  
になれば、彼らは後悔しそ  
してお互いに恨みを言う  
ようになるだろう。

第二に、結婚前のセック  
スが、結婚後のお互いの信  
頼関係を傷つける恐れが  
ある。「彼は、彼女は今で  
も私に誠実なのか?」

最後に、もし彼らが最後  
まで教育を受けられな  
かった場合、失業状態が続  
くか、あるいはずっと長い  
間、賃金の安い職業にしか  
就けない可能性がある。

捨てられたり、離婚した  
りして統計上の数に挙げ  
られないようにしなさい。  
貞節を守りなさい。信頼を  
築き結婚する心構えをし  
なさい。セックスが互いの  
結婚生活を長く続ける献  
身のしるしとなるように。

3・養子に出す決心に追い  
込まれないために

辛いことだが、多くの場  
合十代で母親になった者  
には、子供を養子に出すの  
が一番よい決断である。一  
人で子供を育てる女性は、  
統計上たいがい経済的に  
困窮している。未婚の母子  
家庭は、低所得所帯を増加  
させる二つの大きな理由  
の一つである。(もう一つ

の理由は、捨てられたか離  
婚した母子家庭である。)  
子供を養子に出す少女  
は、子供により幸せな人生  
を過ごせるチャンスを与  
えることは確実である。養  
子に出すことは子供に

とつてはいつも愛の行動  
となる。しかし、セックス  
をしない少女はこの苦し  
い決断にむかわずにすむ。

4・中絶する決心に追い込  
まれないために

人類の生命の始まりは  
妊娠、違ふことばで言えば  
受精の瞬間からである。こ  
の点について疑いはない。

少女が数週間生理の遅れ  
があるうちに、赤ちゃんは  
もう成長し始めている。受  
精してから6週間もたつ  
と心臓は打ち始め、脳波も  
測れるまでになる。10週間  
経つと臓器は生まれる時  
と同様にそろっている。

中絶は、生まれていない  
赤ちゃんにとって拷問で  
あり殺人行為である。中絶  
する母親にとって赤ちゃん  
を殺すということは、生  
と死に関わることであり、  
子供を宿した少年の方に  
とつても一生忘れられな  
いものとなる。多くの女性

が、中絶は年月が過ぎても  
胸が痛むと言っている。  
中絶が法的に許される  
ということは、道徳とは関  
係ないと言える。ヒトラー  
やナチス党員による殺し  
は全て「法的」であったが、  
それは道徳的には許され  
たものではない。

# 命を育む

## ユイマール

(第二部)

### 「兄弟愛」

「愛」という言葉を聞く  
と、日本人はすぐに「恋愛」  
を思い浮かべると思いま  
す。しかし、私が皆さんに  
伝えたい事は、「恋愛」を  
も含めたもっと広い意味  
での「人間の愛」のことで  
す。

キリスト教では、この愛  
のことを「アガペー」と言  
います。

「恋愛」は皆さんもよく  
ご承知のように、異性に対  
する欲求であり、それは人  
間として、ごく自然な感情  
です。神がわれわれ人間を  
そういう風にお作りにな  
ったからです。そして結  
婚し、この世に新しい生命  
が誕生いたします。私たち  
人間は、結婚によって「新  
しい生命の誕生」という神

秘的で尊い力を神様から  
いただくのです。

もう一つの愛は「友情」  
です。私たちの間に「友情」  
が芽生えると、人は全く安  
心して自分の気持ちをあ  
りのままに相手に打ち明  
けることができます。それ  
は、相手の心との深い通い  
合いがあるからです。

又、親子の愛もありま

す。この愛はそれこそ海よ  
りも深く、母親は自分の子  
どものためには命をかけ  
ることさえあります。親子  
の愛はときとして愛の模  
範ともなります。以上ここ  
の上げた三つの愛はみな  
或る意味で自然な感情と  
して起こります。しかし、

「兄弟愛」は違います。(こ  
こでいう兄弟というのは  
家族・身内の事ではありま  
せん。)以前にもいいまし  
たが、キリスト教ではわれ  
われ人間は皆、兄弟姉妹で  
あり、この地球を一つの家  
族と考えます。兄弟愛は自  
然に起こるものではあり

ません。なぜなら相手は他  
人だからです。相手に対し  
て無関心でいようと見え  
ばそうする事も可能です。  
しかし又、一歩踏み出して  
周りの人々を積極的に愛  
することも我々人間には  
可能なことなのです。

先にも述べましたが兄  
弟愛」というのは自然に自  
動的に起こるものではあ  
りません。ですから「兄弟  
愛」は自分の意志で行いま  
す。最初に「私」が相手に  
対して心を開きます。それ  
から相手に先入観をもつ  
ことなく、相手のためにな  
るようなことを心がけ、  
又、行動するのです。

「兄弟愛」はボランティア  
アの中にもみられます。  
「兄弟愛」即ち、すべての  
人々を大切にしている心、これ  
は「人の道」と言っている  
かもしれませぬ。人の為につ  
くすことは、ひいては自  
分自身が人間として成長  
する事にも他ならないの  
です。

さて、これまで「自己イ  
メージ」、「兄弟愛」につ  
いてお話ししてきましたが、  
果たしてこれらの事を私  
自身が実行しているのか  
と言つことになる、いつ  
も反省することしきりで  
す。

四年前、この宮古島に來  
てから、随分大勢の人々に  
支えられ、又、励まされて  
きました。とても感謝して  
おります。宮古の人達は、  
伝統的に「ユイマール」(助  
け合い)の精神を持ってお  
りますので、今後もさら  
に、その精神を生かし、よ  
り良い「自己イメージ」で  
もって、自分の「持ち味」  
を發揮することを期待し  
てやみませぬ。

私も微力ながら、宮古島  
の方々と一緒に、これから  
も素晴らしい共同体を  
作っていききたいと願っ  
ております。

(エリック・タンペ神父)

# 国内ニュース

## 「十代の妊娠」

十代の妊婦さんの訪問  
をすると、若いのに頑張っ  
ているなあと思う反面、ど  
ことなく残るあどけなさ  
が気に掛かります。出産に  
対しても自分が産み育て  
るという意識に、いまひと  
つ手ごたえが感じられな  
い場合があります。

昨年高知市の十代の妊  
娠の届出は67人で、その半  
数が未婚もしくは途中で  
籍を入れるという状況で、  
社会的・経済的基盤が弱  
く、問題を持つケースも少  
なくありませんでした。

男女交際の基盤は思い  
やりのある人間関係です  
が、思春期まった中の若  
い世代には愛情があれば  
体を許してもよいといっ  
た考え方が多いようです。  
はつきりと「NO」と言え  
ない女性は望まない妊娠

に傷つくのです。

性をいやらしいもの、恥ずかしいものとして考えるのではなく、生命の教育として家庭の中でごく自然に語り合えたらと思います。

若い人が悔いのない思春期を送られるように家庭、学校、地域で取り組み援助していくことが必要ではないでしょうか。

#### 保健婦センター

高知市報「あかるいまち」

## 国際ニュース

### 【一番小さな赤ちゃん】

1990年1月16日、スイスのバーンにある大学病院で、390gの赤ちゃんが生まれました。この大学病院で生まれた赤ちゃんの最小記録である。赤ちゃんは、妊娠第26週目で帝王切開に

よって出産された。妊娠中の検査によると、赤ちゃんは母胎内で正常な成長をしていなかったようである。今では成長状態もよく育っているという。

### 【胎児は音楽鑑賞家】

妊娠も第12週目に入ると、胎児は音楽を聴くことができる。ピーター・ヘッパー医師が英国医師協会で語ったところによると、従来考えられていたよりもずっと早い時期に胎児は胎内で音楽を認識することができると、彼の研究成果によって証明されたそうである。

### 【赤ちゃん、

### 中絶の運命を逃れる】

アメリカのある判事が、知恵おくれの女性に強制的に中絶を受けさせると

いう要求を却下した。女性の父親は、女性がレイプの結果妊娠した可能性があるとして中絶の請願を出していた。幸いなことに、妊娠ほぼ7カ月目に入っていたその女性は、判事に対して、子供を生みたいとの要求をはっきり申し述べる事ができたので、胎児の生命は助かった。

### 【司教の声明】

「生命にイエス、中絶にはノー」。ブラジルのカトリック司教たちが声明を出し、中絶に関して次のように述べた。「女性の健康と自由、そして彼女自身の身体に関する権利を守る、という口実のもとに、道徳を全く無視した中絶行為への保護がなされてきたことは、遺憾に耐えない。

真実、中絶は生命に対する冒涇という犯罪であり、中絶を保護する者たちもまた、経済的事情や他の関心事に動かされているに過ぎない。」

### 【チエコスロバキアより】

チエコスロバキアの共和国の一つであるスロバキア共和国の医師たちは、政府から全ての病院に出された通達に従い墮胎手術を拒否することができるようになった。病院運営者たちは、良心的参戦拒否者ともいうべき中絶手術拒否医師たちの申し出を受け入れねばならず、病院内の仕事のスケジュールの調整を余儀なくされている。

### 【ユーゴスラビアより】

最近承認を受けた、ユーゴスラビアのクロシャール共和国憲法は、「全ての人間」に対してその生命の権利を認めている。憲法はまた、共和国内で「特に母親を保護することを保障してはいるが、胎児に関してはなんらの具体的な保護をも与えていない。」



心を満たす

私が願うことは、とにかく多くの女性に中絶の恐ろしさや、それ以前で性に関する知識を知って欲しいと思う。女性の方がしつかりしなければ、これから益々この問題はひどくなつていくだろうと思う。しかし、女性だけでなく、男性にも責任のある事なのだから男性にもこの問題に無関心でいてほしくない。

最近とは言わないが、人間は人間以外の生物を数多く殺し、滅亡させてきた。それを当たり前と言えばそうかもしれない。なぜなら人間自体の弱い生命さえも守る事が出来ないのだから。

ければならないと思う。そのためにも一人一人がやせきつてしまった心を満たす事が出来るように心がけていく事が大切であると思った。

(高校生)

初めての感覚が……

あれが安易な中絶の現実であるという事は、素直に受け入れる事ができる。

しかし体の中の一人の人間の頭を、全てナンバーワンで片づけられてしまうのはとても恐ろしい。確かに、自分の意志でなく、子どもが出来て中絶する人もいる。だが、中絶出来ると言う事をとんでもない安心感や逃げ道のように考えている男性や女性たちが、多い気がする。生まれて来る前に、楽しさや喜びも味わえず、初めて持つ感覚が死の恐怖だとは、か

わいそうすぎる。

中絶とは本当にどう言うものなのかを、全ての人が理解し無抵抗な子どもを死をなくしていくべきだと思う。

(高校生)

## 中絶反対の立場から見た生命

私たちがこの社会の姿をみる時、そして最悪の事態が起きていることに気づいた時、それはまだ生まれてきていない子供たちが殺される子供たちは

の視野を与えなくてはならない。単に物質の世の中ではなく、私たちが毎日生きて生活している美しい創造の世界を与えなくてはならない。

私たちが最も無垢であり、最も自分の命を守る力がないものだが、その時になつて私たちは、この中絶問題が長い戦いであることに気づく。この問題は簡単な解決法によつて片づくものではない。

私たちが提案する世界は共感の世界である。生命は神聖であるという命の視野である。能力や肌の色年齢に関係なく、命は神から与えられた贈り物であるから、一人ひとり人間として生きる権利の視野を示さなくてはならない。この生命を大事にし養育しなくてはならない。

私たちが中絶反対を進めているものは、法律を変える希望と同じように心と精神も変えたいと思つている。心と精神を変えるには、私たちは第一にどのような世界に住みたいかを示す、広くて優れたヴィジョンを現す必要がある。私たちが生きている社会

また、私たちは中絶反対の動きと今日の社会の中での位置づけをみる時、流行的であるかないか、法廷やメディアの応援があるかないかには関わらずどちらの意見が本物であるのか、どちらが自由、進歩、

民主主義選択を考えているのかを見極めたいものだ。答えは明らかであるが、人々に選択権を与えるものである。それは、韓国人であろうと、結婚していない十代の女性であろうと、知能が高かろうと低かろうと、子供を育てていく環境が完全であるかないかには関係ない。これが中絶反対の見解である。私たちは自由の選択を与える。私たちは一人一人の赤ちゃんが自分たちの生命を守る権利があると思う。私たちの代で生まれてこない子供たちを守る側がこの論争で勝てなくても、私たちの次の代の子供たち、または孫の代で勝つだろう。最終的には、正しいものが勝つ！

日本プロ・ライフ・

ムーブメント

ノボトニー・ジェリー

IMI

## ABORTION

### QUESTIONS & ANSWERS

中絶を受けることは、生きていく赤ん坊を正常出産するよりもずっと安全なのではないのだろうか。

いいえ。まず第一に、人工中絶は赤ん坊にとってほぼ100%致命的なものである。泣いたり蹴飛ばしたりして偶然生きて産まれてくる赤ん坊の中でさえ、非常にわずかな赤ん坊しか生きることが許されない。

第二に、母親にとっての中絶手術の推測される安全性は大いに誇張されてきた。中絶によって肉体的あるいは精神的に傷ついた女性たちは、自分たちの問題をどこへ向ければよいのかたいてい分からず、従ってそれらの問題は報告されない可能性がある。人工中絶をするほとんど

の女性たちは、墮胎医を余病の責任から免除する棄権証書にサインすることを要求される。

その一方で、ミネソタ大学で行われた調査によると、人工中絶手術を受けた女性の半数以上が、自分たちの中絶経験に関係のある悪夢やフラッシュバックに悩まされていると言う。ほぼ4人のうち1人が幻覚を経験し、35%の人たちが自分たちの死んだ赤ん坊が夢や幻影の中で自分たちを訪ねて戻ってくる。



## 《事務所だより》

庭には春の訪れを知らせてくれる木蓮が白と紅紫の大きな花を咲かせて、私達の目を楽しませてくれています。皆様お元気にお過ごしでしょうか。昨年、RTE東京大会で、4月27日を世界生命の日と定めると決定され、その日の前後に各国で記念行事が催される事になっております。今年、日本では下記の如く行われます。一人でも多くの方がご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 記

時：1992年4月25日(土)

場所：上智会館5階 第6会議室(四ツ谷駅上智大学構内)

申込場所：日本生命尊重推進協議会事務局

TEL 03-3262-9446

申込締切：4月17日まで

- 13:00 開会の挨拶 阿南成一(協議会長)
- 13:10 基調講演 十代の性について カリタス女子短期大学長 湯原美陽子氏
- 13:50 ワーキンググループごとの討論
- 15:30 グループごとの発表
- 16:20 まとめと終わりの言葉
- 16:30 終了

参加費 1000円(当日徴収致します)

昼食ご利用の方は12:30より会場で昼食  
昼食代は参加費以外に1000円が必要

